

1. 目的 ○不審者が校内に侵入しようとした場合を想定し、
- ①教職員が子どもの安全を第一とした行動ができるようにする。
  - ②安全が確保されるまで、各教室で子どもたちに的確な指示を出しながら待機させられるようにする。
  - ③教員間での確に役割分担を決め、組織的に迅速に行動できるようにする。
- 緊急時の行動の仕方を学び、安全な行動ができるようにし、防犯に対する危機意識を育む。

2. 日時 **6月25日(土)** ①10:38 ②12:43 ③15:38 ※雨天決行
- 事前指導 6月18日(土)に児童生徒に事前指導を行う。避難訓練予定日は伝えない。  
各クラスで指導  
火災避難経路、不審者対応避難場所と集合場所、緊急時の行動の仕方
- 反省会 6月25日(土) 13:20~13:35 (①②) 16:15~16:30 (③)
- 火災避難経路の確認 7月2日(土) 授業終了5分前  
火災が起きた際を想定し、3階のクラスは非常階段を、2階は裏口階段を児童生徒と担任が下りる。

3. 参加 全校児童・生徒および全教職員

- ① 幼1(13)、小1-1(12)、小2-1(16)、小3-1(16)、小4-1(6)、小5-1(7)、小6-1(9)、中2-1(5)、中3(8)  
計 92名
- ② 幼2(12)、国際午前(7)、小1-2(9)、小2-2(12)、小3-2(7)、小4-2(8)、小5-2(7)、小6-2(6)、中1(8)  
計 76名
- ③ 国際午後(8)、中2-2(5)、高等部(4)  
計 17名

4. 設定： 正面玄関前でうろろする不審者を保護者が発見し、電話で連絡があった。

5. 避難場所 窓からの侵入を考えた上で、いちばん侵入に時間がかかる場所。

- ・ 2階 →職員室(10)、10
- ・ 3階 →20、20
- ・ 校庭・体育館→体育館 室(放送が聞こえないため、必要に応じて携帯電話を持参して連絡する。)

6. 事前指導 各クラス担任が指導

**アラームが鳴ったら**

- ・ 静かにして座る。(体育館も同様)
- ・ 先生の指示を聞く。

**ロックダウンの手順**

- ①教師は教室を消灯する。
- ②児童は気持ちを落ち着けて、先生の指示をよく聞く。
- ③教師は避難教室に児童生徒を避難させる。
- ④教師は、避難教室の窓・ドアを施錠する。
- ⑤児童生徒は、机の下等に身を隠す。
- ⑥物音を一切立てない。

(大声を出して危険を回避する場合もある。あくまで状況に応じて判断する)

### 校内に不審者が侵入したときの注意

- ①先生と一緒に鍵のかかる部屋に入り、中から施錠する。
- ②気持ちを落ち着けて、先生の指示をよく聞く。
- ③大声を出したり、大きな物音を立てたりしない。
- ④身を低くして、物陰や机の下などに隠れる。ドア、窓から離れる。
- ⑤警察→教師の指示があるまで静かに待機する。

### 不審者と思われる人物がいたら・・・

- ①不審者をにらみつけたり、じっと見たりしない。
- ②不審者が驚くような急な動作をしない。  
(状況に応じて判断。教師と子どもとも対処の動作に差があり)
- ③不審者からできるだけ遠ざかる。(隠れる)
- ④不審者がいることを、近くの先生や友達に知らせる。
- ⑤先生の指示に従い、速やかに安全な場所に避難する。

### 運悪く、不審者に捕らえられてしまったら・・・

- ①犯人は刃物や銃を持っていることが十分に考えられるので犯人の指示に従う。
- ②犯人の気持ちを落ち着かせるようにし、抵抗したり、大声を出したりしない。
- ③犯人をにらみつけたり、じっとみたりしない。
- ④犯人の特徴(人相、髪型、体、声など)を危険のない範囲でつかむようにする。
- ⑤必ず救出されることを信じて、我慢強く待つ。

### 学校外、一人で不審者に会ったことも想定し、「いか・の・お・す・し」を覚えさせる。

「いか」・・・知らない人に声をかけられても、ついて「いか」ない。

「の」・・・知らない人の車には、ぜったい「の」らない。

「お」・・・こまったら「お」おきな声で助けをよぶ。

「す」・・・その場から「す」ぐにげる。

「し」・・・近くのおとなに「し」らせる。

### 集合場所への移動

- ①移動の際は「押さない」「走らない」「しゃべらない」(「お・は・し」)を守る。  
階段では手すりを持って冷静に降りる(ポケットに手を入れない)。校舎外では急ぎ足。
- ②集合場所で、整列の際には、前習え、その場にしゃがむ。私語はしない。説明している人の話を静かに聞く。
- ③説明の際には、立って大きな声で話す。

7. 放送機器と防犯アラーム

Aの動き ※事務は毎朝、電話を取ってみて音を聞き、通話可能かを確認する。

① 訓練開始 防犯アラーム鳴らす。

不審者が明らかに刃物等を所持している場合は、アラーム作動前か同時に警察に一報を入れる。

②防犯アラームを鳴らしたら、必ず電話に出て、訓練であることを伝える。(パスワードをきかれる)

※防犯アラーム後、警備会社からはすぐに電話がかかってくるが、かかってこなければ、かける。防犯アラーム後、警備会社からは、学校固定電話→学校携帯電話B→(事務携帯電話)の順にかかってくる。  
※連絡が取れない場合は、警察が出動。

③アラームを解除する。

○各時間帯の児童生徒が、アラームの音を聞いて避難する目的で、実際にアラームを作動させる。

※音が鳴らなかった場合、校内放送で代用する。

○速やかに静かに非難する訓練を行う。

**使い方**

**アラーム**

- ・引っかかりをやさしく引く(強く引くと壊れる)。
- ・1~2秒後に鳴り始める。
- ・しばらくしてから解除。


**放送機器**

- ・スイッチを入れ、音量を7にし、ボタンを押しながら使用する。

8. 当日の流れ

時程	活動内容	担当、留意点○
①10:38 ②12:43 ③15:38	<p>・学校正面玄関前で、うろうろしている不審者を保護者が発見し、電話連絡がある。</p> <p><b>A</b></p> <p>① 職員室にいるCとBに不審者がいることを伝える。</p> <p>② C(① ②③校長)に状況を説明する。Cと共に学校正面玄関前にいる不審者をモニターで確認する。</p> <p>③ アラームを作動させる。しばらくして止める。</p> <p>④ 警備会社からの電話対応→<u>今回は訓練であることを伝える。</u></p> <p>⑤ 運営委員長、全日校校長、大使館に電話。</p> <p><b>B★</b>2階のドアをロックする。(鍵マーク) 家庭室・トイレ、空き教室に静かに声を掛ける。 1(室),1(室),1(室)ドア施錠。 裏口ドア(階段上)→ドアが閉まっているか確認 (声を掛け合い、分担する)</p> <p><b>C</b>:アラーム後、校内放送で状況を説明。 「正面玄関前に不審な人物がいます。直ちにロックダウンをしてください。繰り返します。正面玄関前に不審な人物がいます。直ちにロックダウンをしてください。」 ※的確にゆっくり放送する。</p>	<p>職員室: <b>A</b> <b>B</b> ① ★、 ② 事務 ★ ③ 教頭 ★ ( )</p> <p><b>C</b> ① ②③校長 ○職員室の動きは、その場にいる職員が臨機応変に対応する。</p>

**各担任**

- ① アラームの音を確認した教員は、教室のドアを少し開け、放送が聞こえるようにする。
- ② 3階のドア→近くの教員が強化扉をロック（）する。

**引率教員以外の動き**

- ② 児童生徒を静かに素早くパニックルームに避難させる。その際、離れる教室の窓閉めと消灯をできる限り行い、パニックルームに移動。
- ③ 引率教員に預ける児童生徒のクラス名と人数を伝える。

**見回り教員※**

- ② 静かに素早く声を掛け合って、(保護者にも協力を求めて)分担して窓閉め、空き教室への避難声掛けをする。見回り後は速やかにパニックルームへ避難。

男女トイレ・休憩室・図書室

**パニックルームの引率教員(下線)の動き**

- ② 教室の窓閉め、ドアの内側から鍵を掛け、預かった児童生徒と共にロックダウン→見回りから戻る教員を受け入れる。

- ④ 不審者確保の放送が入るまで、ロックダウン。

※ロックダウン＝消灯・施錠・身を隠す・声や音を出さない。

- ②階→①小 1-1 ( ) →10 (引率: )  
           小 2-1 ( ) →10 職員室 (引率: )  
           ②小 1-2 ( ) →10 (引率: )  
           小 2-2 ( )、国際午前 ( ) →10 職員室 (引率: )

※見回り教員：①、②、③、

**3階**

- ① 小 4-1 ( )、中 2-1 ( )、図書室在室者 →20 へ (引率: \_\_)  
           小 3-1 ( )、中 3 ( ) →20 へ (引率: \_\_)
- ② 小 6-2 ( )、小 5-2 ( )、図書室在室者 →20 へ (引率: \_\_)  
           国際午前 ( )、中 1 ( ) →20 へ (引率: \_\_)
- ③ 高等部 ( ) →20 へ (引率: \_\_)  
           国際午後 ( )、図書館在室者 →20 へ (引率: \_\_)

※見回り教員：①、②、③

**体育館**

- ① 幼稚部1 (引率: )
- ② 幼稚部2 (引率: )

**幼稚部担任の動き:**

- ① アラームを聞いたら、その場に座らせ指導し、室へ園児を連れていく。
- ② 体育館の入り口で、外からの避難者がいないか確認して、ドアの鍵を締める。
- ③ 室に戻り、ロックダウン。

- ① 10:44
- ② 12:49
- ③ 15:44

・警察が到着し、不審な人物を確保。Cが校内放送で状況を説明。(体育館にいる幼稚部は、外に人が集まっている様子を確認したら、ドッジボールコートに移動する。)

「不審な人物が確保されました。全員体育館脇ドッジボールコートに集まりましょう。繰り返します。不審な人物が確保されました。全員ドッジボールコートに集ま



- ①
- ②
- ③

○引率教員は、パニックルームの教員、また、できたら、いちばん学年の若いクラスの担任。

○声を掛け合い、職員室にいる職員は窓閉めをする。

○職員室に移動した職員は、内側から鍵を閉め、児童は中央通路と窓側の席の下に隠れる。(大勢の場合、廊下側にも隠れる。)

○パニックルームに入り次第、空いている窓は、最寄りの教員が責任を持って閉める。

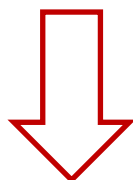
<p>りましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童・生徒は、担任の指示に従って移動。 2階の教室→裏口から移動 3階の教室→表玄関から移動→扉のロックを解除する。</li> <li>・A職員室から移動する職員(通報係)は、コピー用紙棚にある在籍名簿を持ち、職員室を施錠する。C(連絡係)は、レターボックス脇の緊急マニュアルを持ち出す。</li> <li>・2階の幼稚園児、児童を誘導する際は教員が前後を挟んで移動し、事故のないよう気をつける。3階も教員が先頭で児童生徒を誘導し、列の後ろにも教員がつく。</li> <li>・集合場所には到着したクラス順に整列、前習え、しゃがむ。</li> <li>・担任は児童・生徒の無事を確認し、校長へ報告。 「〇年〇組、〇名、異常ありません。」</li> </ul> <p><b>全体指導</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 校長より講評 ※以下、人数が多い場合は拡声器を使用する。</li> <li>② 児童・生徒代表クラスが基本行動の説明       <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 集合場所への移動について→「お・は・し」</li> <li>2. 通学途中や校庭で不審者に出会った場合の自己防衛について →「いか・の・お・す・し」</li> </ol> </li> <li>③ 担当者より指導       <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドアを開けるための暗証番号は、補習校、全日校の人だけ知っている。他の人に教えてはいけない。</li> <li>・暗証番号を打ち込む時に、周りに知らない人、不審者がいないかどうか見る。</li> </ul> </li> </ol>	<p>非常口を二か所に分けて移動。火災の場合の避難経路確認も兼ねる。</p> <p>進行： 避難訓練担当</p> <p>代表クラス： ①中3( ) ②中1( ) ③高等部( )</p>
--	--

<p><b>集合場所</b> 「体育館脇ドッジボールコート」 小雨の場合→体育館脇軒下。強い雨の場合→体育館（靴のまま入ってよい）。</p>
--

## 9. 職員が警察を呼ぶとき

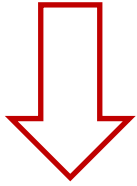
<p>警察電話番号 <b>1 1 7</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①防犯アラームを鳴らす。</li> <li>②警備会社から電話がかかる。</li> </ol> <p>ドイツ語 Japanese Schule Uster. (ヤパーニツシェ シューレ ウスター) Bitte kommen Sie schnell! (ビッテ コメン ズィー シュネル!) Bitte schnell! (ビッテ シュネル!)</p> <p>英語 Einbrecher (Terroristen)! This is Japanese school in Uster. Please help us immediately (soon)!</p>
--

### 緊急事態発生



## 現場個別対応

- ・授業者、近くの大人が児童生徒の安全確保
- ※ 臨機応変な対応



## 保護の優先順位 ※サービス規程より

- ①児童・生徒の生命・身体の保護
- ②教職員の生命・身体の保護
- ③学校財産の保護

## 組織対応

<b>【連絡班】</b> 校長：運営委員長 大使館 文科省へ 校長・教頭・事務：保護者へ連絡 事務（教員）：警察通報 救急車要請	<b>【避難誘導班】</b> 各クラス担任	<b>【記録班】</b> 避難訓練係、教頭 <b>【救護班】</b> 事務、（ ）
---	--------------------------	--

### 【連絡の内容】考えられる、学校から連絡する必要がある諸機関

- ☆ 警察通報、場合によって、医療諸機関への協力要請、救急車の待機要請、全日制校長・教頭への応援要請
- ☆ 第一報 大使館 文科省 運営委員長へ（事実の伝達、以後の連絡法確認）
- ☆ 保護者へ事件事実の連絡
- ☆ 場合によって、医療諸機関への協力要請、救急車の待機要請
- ☆ 第二報 大使館、文科省、運営委員長へ（経過報告、児童生徒の下校等協議）
- ☆ 第三報 大使館、文科省、運営委員長へ（下校完了、人質の安否、犯人動向について報告）
- ☆ 第四報 大使館、文科省、運営委員長へ（事件解決報告、翌日以降の対応について協議）
- ☆ 保護者へ解決報告、翌日以降の対応の連絡

### 【不審者対応避難基本原則】

- ・児童・生徒の安全確保を優先しながら、警察へ連絡（連絡者が重複する場合もある）
- ・校庭にいる場合は体育館 室に避難する。
- ・職員は日頃から不審者が校舎内に入らないように注意する。敷地内に不審者と思われる人物を見つけたら、その人物が校舎に入る前に声をかける。
- ・校舎内に入ってしまった場合は、教員同士が声を掛け合い、不審者をドアの外に出す。人物の反応が異常であれば警察に通報する。
- ・避難中に外から保護者が来ても、強化扉・体育館扉は開けない。（中の児童生徒を守るという意図で）

### 【心構え】

- ・体育館に避難後、情報がなく状況がわからない場合、ほとぼりが冷めるまで待つか、周りの状況を見て自分の判断で別の安全な場所に逃げる。
- ・教員が状況を見に行く際、子どもは、隠れたまま待っている。

## 11.その他

- (1) 常時更新した在籍名簿をコピー紙のある棚に用意しておく。（事務）
- (2) 在籍名簿に鉛筆を入れておく。（避難訓練担当）
- (3) クラスの連絡網を更新した場合、日誌ファイルと緊急ファイルのものを差し替える（担任）。
- (4) 校舎、体育館にいる保護者（懇親会中でも）に参加を呼びかけ、原則として参加してもらう。
- (5) 教員がお互いに避難場所の確認をする。

- (6) 病院への搬送などは、保護者にお願いするなど、状況を見て、臨機応変に対応する。
- (7) 担任は、火災が起きた際の避難経路・避難場所芝生運動場の二か所（火元校舎家庭室など）と池前（火元体育館周辺）について、普段から児童・生徒に話しておく。
- (8) 2階の幼い園児、児童を誘導する際は、教員が前後を挟んで移動し、事故のないよう気をつける。3階も教員が先頭で児童生徒を誘導し、列の最後にも教員がつく。
- (9) 16時から18時に授業がある年は、該当クラスと学習室に懐中電灯を置き、前もって電池などを確認し、すぐ手に取れる場所に移動しておく。（持ち易いように、懐中電灯にひもを付ける）
- (10) 校長・教頭が2階フロアに不在だった場合、指揮をとるのは、2階にいる教員で行う。
- (11) 補習校のパニックルームは、2階 →10、室(10)、3階 →20、20、20とする。
- (12) 3階で授業をしているときに防犯アラームが鳴った場合、職員室からの連絡を受けるまで、使用教室からは動かない。
- (13) 3階の非常階段付き教室(20)の場合は内側から鍵をかけることができないため、ロックダウンの教室にしない。
- (14) 教員もパニックルームに静かに避難して待つ。
- (15) 中にいる保護者は参加(3時間帯のうち1回は、参加)  
保護者の協力及び理解がないと被害を最小限に抑えることができない。緊急時の学校の対応につき訓練又は実践を問わず、校内にいる保護者については、各教員への協力(周辺の子への対応等)を依頼する。  
子どもの見本になってもらう、教職員の練習として保護者を含め、無事に避難させられるかを把握するという意図で。  
避難訓練では、外から避難の音が聞こえるか、保護者に当日外にいてもらうよう依頼をしておく。(空き教員;B★)
- (16) 緊急マニュアルには、クラス名と人数記載の教室配置図も加えておく。
- (17) アラーム音が鳴らなければ校内放送で防犯ベルを鳴らす。

## 12. 安全担当係 備考

- ・保護者用に掲示する避難経路図には、クラスの人数と担任名は消す。
- ・後日、火災避難訓練経路確認のため歩く。
- ・反省会で出たことは、書面で残す(大使館報告に必要)。
- ・実施後に修正し、不審者対応マニュアルとして緊急ファイルに一式入れておく。
- ・不審者が明らかに刃物等を所持している場合、警報器作動前(又は同時)に警察に一報を入れる手順を確認する。

	A	C	B★	B	見回り教員	担任(引率教員)
①10:38 ②12:43 ③15:38	保護者より不審者発見の電話連絡を受ける				授業	
	BCに不審者がいることを伝える Cに状況を説明	Aから不審者がいることを聞く				
①10:39 ②12:44 ③15:39	モニターで不審者を確認					
	アラーム作動		2階の強化ドアをロック			
①10:40 ②12:45 ③15:40	警備会社からの電話対応	校内放送(ロックダウンの指示)	家庭室・トイレ・空き教室に声掛け 11,11,11 ドア施錠 裏口ドア(階段上)→閉まっているか確認	児童・生徒をパニック ルームへ送る 保護者に窓閉めなどの 協力を依頼 トイレ・休憩室・図書室に 声掛け パニックルームに避難	パニックルームに避難 Cに報告	3階の強化ドア→近くの教 員がロック
①10:41～ ②12:46～ ③15:41～	関係機関電話連絡		ロックダウン			
	ロックダウン					
①10:44～ ②12:49～ ③15:44～	在籍名簿を持ち、 職員室を施錠	校内放送(確保および集合場所の 指示) 緊急マニュアルを持ち出す	ロックダウンを解除			
	ドッジボールコートに移動, 各担任は児童・生徒の無事を報告する					



不審者対応避難場所・避難経路／防犯アラーム・緊急時インターホン・消火器 配置図

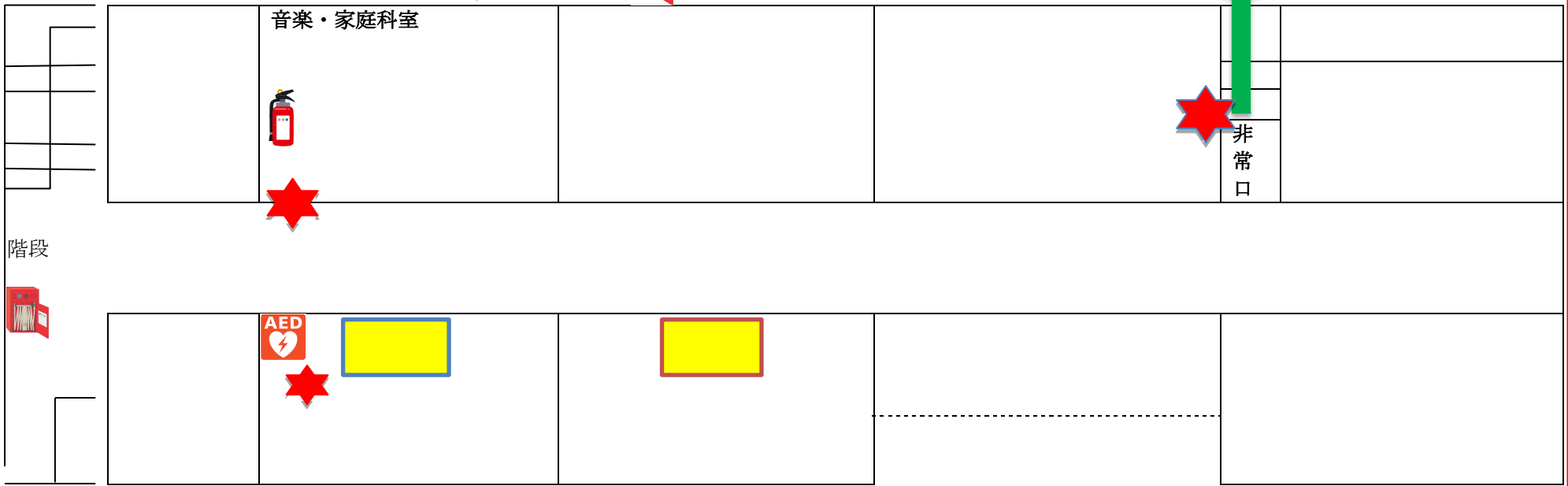
2022年度

補習校

階 (.Stock)

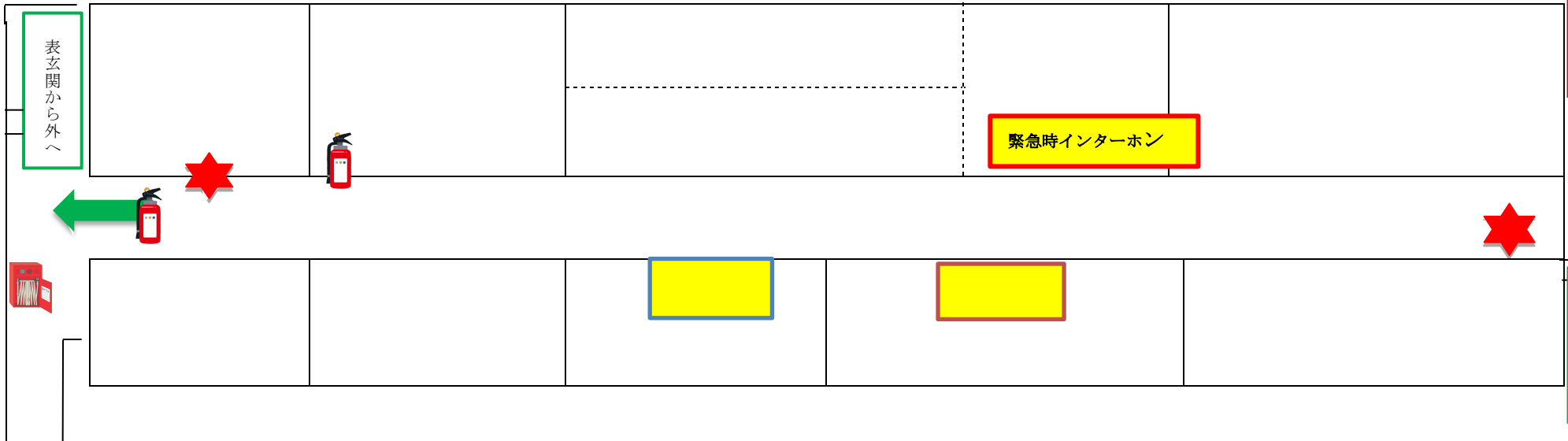


裏口から外へ



階 (.Stock)

表玄関から外へ



防犯アラームなど配置です。ご確認ください。